

2020年8月6日

**TBWA\HAKUHODO、落合陽一×日本フィルプロジェクト VOL.4  
「\_\_する音楽会 - \_\_Orchestra-」に協力  
「With コロナのオーケストラ様式」を生み出し、文化芸術団体のあり方を模索**

開催日：2020年10月13日（火）会場：東京芸術劇場 大ホール

（記者会見：2020年8月19日（水）都内開催/オンライン配信有）

TBWA\HAKUHODO（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：今井明彦）は、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団（東京都杉並区、理事長：平井俊邦、以下日本フィル）が2020年10月13日に開催する「落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト VOL.4」となる《\_\_する音楽会》に協力します。



『落合陽一×日本フィル』プロジェクトは、「テクノロジーによってオーケストラを再構築する」というテーマのもと、2018年から過去3回にわたって音楽会を開催してきました。聴覚障害のある方も一緒に音楽を感じて楽しめる「耳で聴かない音楽会」などを通して、オーケストラの新たな魅力と価値を広げてきましたが、今年は、コロナ禍におけるオーケストラのあり方を模索し、オンライン鑑賞の新しい魅力を探る音楽会を急遽開催します。演奏曲目や公演コンセプトは、落合陽一（演出）、WOW（映像の奏者）、海老原光（指揮）出席のもと、2020年8月19日、都内にて開催する記者会見にて発表いたします。当日は日本フィル奏者より、演奏会の曲目に因んだ演奏実演も予定しています。



「密を避ける」という今の状況は、演奏会のスタイルのあり方を私たちに突きつけました。《\_\_\_する音楽会》という公演名には、当初計画していた音楽会が新型コロナウイルスによって白紙となった様子、そして、そこから新しい演奏会を模索する「試行錯誤」への覚悟が込められています。

《\_\_\_する音楽会》は、オンライン観賞を劇場観賞の単なる代替手段ではなく、オンラインにしかできない新しい鑑賞体験を提供します。ライブでのオーケストラの「響き」と「らしさ」を保ちつつ、会場とオンライン配信とで、同じコンサートを「まったく別の体験」としてお楽しみ頂く予定です。「新しい公演の生まれる場」と「オンライン上に生み出された音楽会」のどちらを選んで鑑賞頂くかはお客様次第です。東京芸術劇場コンサートホールでの鑑賞券も、ソーシャルディスタンスを充分保てる限定数でご用意しますが、会場でご覧になった方も、ぜひ後日のオンライン再配信を観賞いただき、それぞれを比較して味わっていただけましたら幸いです。

コロナ禍の音楽会のあり方を模索する《\_\_\_する音楽会》。そのタイトルの空白に、ぜひみなさまの考えを巡らせてみてください。そして、生まれ変わった「赤子」のようなオーケストラ演奏会を目撃しませんか。

## ■ステートメント（落合陽一）

### 計算機時代の赤子のような、分断されたオーケストラと新しいデジタルの地平

#### Reborn to Digital Nature

オーケストラが分断される。今までと同じ形を作れなくなる。メロディも、ハーモニーも、体験も、感覚も、分断された世界で今まで通りに味わうには難しい。

距離の制約を電子技術を経由して取り戻そうという動きがある。多くの試みが流刑状態にある人々を癒すために、空間を超えて行われている。不意に現れたデジタルの自然への橋梁を前にして、世界の手触りを失ってしまっていることに気がつく。世界が今や質量への憧憬の中にあり、その憧憬がもはや郷愁へと変わりつつある。この現状に我々は満足していない。

我々はこの時空間的な分断に対して、実験と共有の連続こそがこの新しいデジタルの地平に生まれ直した時代にとりうる、手立てだと真摯に考える。我々は身体性を切り離れたデジタルの地平で、オーケストラを聴くこと、見ること、共有することについて、実はまだ何も知らないことを、毎日明らかにしていくのだ。デジタルの地平から、改めてこの世界の触覚や調和を取り戻す作業は、世界を赤子が認識していく姿に似ている、初めてバイオリンを習ったときのあの窮屈さや、初めてピアノを褒められたあの奥ゆかしさに似ている。

繋がること、隣人を愛すること、夢を抱くこと、希望を持つこと、様々な大切さがある。我々はその中で、世界に生まれ落ちた赤子が、世界を触りながら愛していくように、オーケストラの原義に立ち戻りながら、デジタルの触覚や共有空間に対する想いを結実させていく。今我々が目指すのは、実験と共有の繰り返しからたどり着くはずの、名前のまだない、幼子の初めての発表会だ。

## ■出演者・スタッフ

演出・監修：落合陽一

出演：海老原光（指揮）、日本フィルハーモニー交響楽団（演奏）

ビジュアル演出：WOW

照明：成瀬一裕

他

## ■公演概要

### 〈 する音楽会〉

日時：2020年10月13日（火）19:00 開演 / 20:45 終演（予定）

場所：東京芸術劇場 大ホール

<https://www.japanphil.or.jp/concert/24296>

プログラム：後日発表

料金：オンライン視聴券 6,000円

コンサート鑑賞券 S：6,000円 A：5,000円、25才以下&ダイバシティ席：3,500円（以上税込）

申込・発売日：クラウドファンディングREADYFOR（チケット他特典付き支援）：8月6日（木）～

オンライン視聴券 イープラス 8月28日（金）11:00～

コンサート鑑賞券 日本フィル・サービスセンター、他各PG 8月28日（金）11:00～

主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

協力：Emohaus Inc.、TBWA\HAKUHODO、他

※公演会場への未就学児の入場はご遠慮ください。

※車椅子をお使いの方も、お気軽にお問い合わせください。

※ホールでのコロナ対策について

政府のガイドラインを遵守した感染対策を施し公演を実施いたします。公演会場参加チケットをお求めの方は、チケットのご送付は9月下旬といたします。また、ご来場の際はマスク着用等、感染防止へのご協力をお願い申し上げます。

## ■クラウドファンディング概要

公演で使用するシステム資金と、最高級の音質・映像で生の「響き」、「らしさ」をみなさまにお届けするシステム資金の確保のため、クラウドファンディングプロジェクトもあわせて実施します。

クラウドファンディングサービス READYFOR 落合陽一×日本フィル VOL.4

<https://readyfor.jp/projects/vol4>

※公演チケットに加え、限定グッズやイベント参加券等、各種特典のついたリターンをご用意しております。

## ■プロフィール

### 落合陽一（おちあい・よういち）



メディアアーティスト。1987年生まれ。東京大学大学院学際情報学府博士課程修了(学際情報学府初の早期修了)、博士(学際情報学)。筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター センター長、准教授・JST CREST xDiversity プロジェクト研究代表。

2015年 World Technology Award、2016年 PrixArs Electronica、EUより STARTS Prize を受賞。Laval Virtual Award を2017年まで4年連続5回受賞、2019年 SXSW Creative Experience ARROW Awards など多数受賞。近著として「デジタルネイチャー (PLANETS)」、「2030年の世界地図帳 (SBクリエイティブ)」、写真集「質量への憧憬 (amana)」。「物化する計算機自然と対峙し、質量と映像の間にある憧憬や情念を反芻す」をステートメントに、研究や芸術活動の枠を自由に越境し、探求と表現を継続している。

### 海老原光（えびはら・ひかる、指揮）

鹿児島生まれ。鹿児島ラ・サール中学校・高等学校、東京芸術大学を卒業、同大学院修了。その後、ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。2007年ロブロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第3位を受賞。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュの各氏に師事。2019年、九州シティフィルハーモニー室内合奏団首席指揮者に就任。これまでに、国内主要オーケストラを指揮し、好評を得ている。また、2012年、2015年にクロアチア放送交響楽団の定期公演（ザグレブ）に、2019年にはゲデレー交響楽団（ハンガリー）に客演し、現地で好評を博した。

オフィシャル・ホームページ <http://www.hikaru-ebihara.jp/>



## 日本フィルハーモニー交響楽団

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



創立指揮者 渡邊 暁雄

1956年創立。創立指揮者渡邊暁雄。60年を超える歴史と伝統を守りつつ、さらなる発展を目指し、「オーケストラ・コンサート」、「リージョナル・アクティビティ」、「エデュケーション・プログラム」という三つの柱で活動を行っている。首席指揮者ピエタリ・インキネン、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹という充実した指揮者

陣を中心に演奏会を行い、“音楽を通して文化を発信”している。2011年4月より、ボランティア活動「被災地に音楽を」を開始。2020年6月末までに294公演を数え、現在も継続している。

落合陽一とのプロジェクトにより、カンヌライオンズ2019ミュージック部門（「エンターテインメントライオンズ・フォー・ミュージック」）ブロンズ賞受賞・SDG部門（「サステナブル・デベロップメント・ゴール」）ショートリスト入選、第72回広告電通賞イノベティブ・アプローチ部門最高賞・特別賞、日本マーケティング大賞 奨励賞、第5回JACE イベントアワード優秀賞を受賞。コロナ禍で現在までに、年間事業数の約半数に及ぶ70公演が中止・延期となった。

オフィシャル・ウェブサイト <https://www.japanphil.or.jp>

## WOW

東京、仙台、ロンドン、サンフランシスコに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CMやコンセプト映像など、広告における多様な映像表現から、さまざまな空間におけるインスタレーション映像演出、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスのデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークをおこなっている。コーポレートサイト <https://www.w0w.co.jp/>



## TBWA\HAKUHODO

2006年に博報堂、TBWA ワールドワイドのジョイントベンチャーとして設立された総合広告会社。博報堂のフィロソフィーである「生活者発想」「パートナー主義」とTBWAがグローバル市場で駆使してきた「DISRUPTION®」メソッドを中心とした独自のノウハウを融合。質の高いソリューションを創造し、クライアントのビジネスの成長に貢献する。

「DISRUPTION®」は既成概念に縛られず、常識を壊し、新しいヴィジョンを見いだすTBWA\HAKUHODOの哲学。マーケティングに限らず、ビジネスにおけるすべての局面でディスラプションという新しい視点を武器に事業やブランドを進化させるアイデアを生み出す。



TBWA\HAKUHODO Inc.

Tel : 03-5446-7386 Fax : 03-5446-7242  
www.tbwahakuhodo.co.jp

TBWA\HAKUHODO は、2018 年の VOL.1 より、広報デザインや PR 映像作成などを通じて当音楽会をサポートし、オーケストラのアップデートに協力を続けている。当プロジェクトにおいて、カンヌライオンズ 2019 の銅賞、電通広告賞の最高賞などをはじめ、国内外の権威ある広告賞を多数受賞している。

<http://www.tbwahakuhodo.co.jp>